

こうしゅつ 市議会広報

33号

2014.1.30 発行
山梨県甲州市議会



- 特集① 12月定例会レポート P2～
 - ・一般会計補正予算2件を可決
- 11月臨時会レポート P4
 - ・新議長に中村勝彦議員が当選
- 議案等議決結果一覧表 P5
- 特集② 塩山中学校2年生が市議会の仕組みを学ぶ P6～
- 一般質問 11人の議員が市政を問う！ P8～
- 委員会レポート P20～

消防団の勇壮な分列行進
(甲州市消防団出初式にて)

一般会計補正予算2件を可決

予算総額は179億円余

平成25年度甲州市議会12月定例会は、12月5日から12月25日までの21日間の会期で開かれ、条例案、各会計の補正予算案、人事案、請願、議員発議案など27件の事件について慎重な審議を行いました。主な議決内容を要約してお伝えします。

中学校普通教室 エアコン設置事業設計委託料を計上

◆平成25年度甲州市一般会計補正予算(第7号)は、2億1814万3000円を追加し、歳入歳出をそれぞれ179億3920万6000円としました。主な歳出内容は、総務費として総務一般管理費等に1058万2000円、民生費として障害者自立支援給付費等に1億7033万円、衛生費として急速充電設備設置事業等に1691万7000円、農林水産業費として農業振興一般経費等に1742万5000円、教育費として中学校普通教室エアコン設置事業設計委託料等に750万6000円を

追加し、土木費は下水道事業特別会計繰入金等を985万円減額するものです。主な歳入内容は、国庫支出金に6749万3000円、県支出金に4499万5000円、繰越金に9241万6000円を追加するもので、可決しました。

台風27号の被害で 災害復旧費を追加

◆平成25年度甲州市一般会計補正予算(第8号)は、昨年10月の台風27号により被害が発生した大和町初鹿野地内の林道柵小屋線の災害復旧事業について、補助

事業費が確定したことにより、1050万円を追加し、歳入歳出をそれぞれ179億4970万6000円としました。歳出内容は、災害復旧費として1050万円を追加し、歳入内容は、県支出金に385万8000円、繰越金に324万2000円、市債に340万円を追加するもので、可決しました。

◆甲州市立保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例制定については、少子化の進行を踏まえ、行政改革推進の観点から、平成26年4月1日から市立菱山保育所を市立東雲保育所に統合することについて、所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

勝沼防災センター 26年度から使用料を徴収

◆甲州市勝沼防災センター設置及び管理条例の一部を改正する条例制定については、市の財政状況及び市勝沼防災センターにおける利用実態を踏まえ、自主財源の確保と受益者負担の観点等から、平成26年度から、その利用に関し、使用料を徴収することとし、使用料の額、減免及び還付その他必要な事項を定める改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆人権擁護委員に土屋英文氏(63・塩山三日市場)、前田芳博氏(63・勝沼町下岩崎)、若月達夫氏(66・塩山下於曾)を推薦することに同意しました。



勝沼防災センターの利用に際しては、自主財源確保の観点等から使用料を徴収することとなった

消費税増税関連の6条例案は 討論・採決により可決

◆甲州市勝沼農業農村情報連絡施設設置及び管理条例等の一部を改正する条例制定について、◆甲州市下水道使用料条例及び甲州市浄化槽の整備に関する条例の一部を改正する条例制定について、◆甲州市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について、◆甲州市勝沼ぶどうの丘施設設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について、◆甲州市立病院及び診療所諸収入条例の一部を改正す

る条例制定について、◆甲州市恩賜林記念館使用条例の一部を改正する条例制定については、平成26年4月1日から消費税及び地方消費税の税率が5割から8割に引き上げられることを踏まえ、その課税対象である各施設等の使用料等の額を、税率引き上げを反映した額に改定する改正を行う必要があるため制定するものです。本会議では、「可決すべきもの」として各常任委員長の報告に異議が出

されましたが、討論・採決の結果、賛成多数で可決しました。

◆委員長報告に反対討論

川口信子 消費税率を8割に引き上げること、8兆円の増税となり、年金の削減など、社会保障への負担増と給付減を合わせれば10兆円という史上空前の負担増となる。政府は、「経済再生と財政再建の両立を図る」と述べているが、消費税増税が強行されれば、国民生活に深刻な打撃をもたらす。経済も財政も共倒れになることは明らかである。よって、消費税増税は中止すべきであり、関連議案の可決に反対する。

◆委員長報告に反対討論

野尻陽子 消費税が増税されれば、収入が増えない庶民はますます財布のひもを締め、経済活性化とは逆の効果を生むことになる。政府は、支出が増加すればその分を増税して賄う、国民が負担するという考えばかりで、「節約、経費削減」

という支出抑制の発想が見受けられない。よって、消費税増税に反対し、関連議案についても認められない。

市内6施設の指定管理者を指定

◆市内6施設における指定管理者の指定について、可決しました。指定先は、甲州市勝沼農業農村情報連絡施設を勝沼CATV株式会社、甲州市勝沼健康福祉センターを社会福祉法人甲州市社会福祉協議会に、甲州市大和福祉センター・甲州市大和デイサービスセンターを株式会社やさしい手に、甲州市甲斐の国大和自然学校施設を株式会社フイツツに、甲州市やまと天目山温泉資源活用施設及び甲州市日川溪谷緑の村を株式会社栄和交通としました。

2件の請願を審査

◆山梨県に対して、「重度心身障害者医療費助成制度」の窓口無料の維持を求める意見書を提出することを求める請願は、県に対して、本制度を現行のまま継続するよう意見書を提出するこ

とを求めたものです。本会議では、本請願を不採択とした教育民生常任委員長の審査報告に異議が出されませんが、採決の結果、委員長報告のとおり不採択となりました。

◆新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書の提出を求める請願は、消費税増税にあたり、複数税率の導入と新聞への軽減税率適用を実現することを求めたものです。本会議では、本請願を採択すべきものとした総務常任委員長の審査報告に異議が出されませんが、討論・採決の結果、委員長報告のとおり採択し、関係省庁へ意見書を提出しました。

◆委員長報告に反対討論

野尻陽子 一般家庭における新聞購読料は、食料品などと違い、大きな負担ではない。軽減税率を求めるとなれば、その分の税収が減るわけである。また、軽減税率が実施されると、それに係る多額の処理経費が必要となる。新聞は非常に重要ではあるが、特別に軽減する大きな理由が見当たらない。よって、委員長報告に反対する。



勝沼CATV株式会社が指定管理者となった市勝沼農業農村情報連絡施設

第3期の甲州市議会がスタート 新議長に中村勝彦議員が当選

甲州市議会議員一般選挙後、初の臨時会が11月28日に開かれ、正副議長、各常任委員会などの構成が決まりました。また、条例案、補正予算案など5案件が提出され、慎重な審議を行いました。内容を要約してお伝えします。

◆甲州市公民館設置及び管理条例の一部を改正する
中央公民館リニューアル工事実施に伴い、さらに、今までの利用状況等に鑑み、会議室や設備器具等の利用料金の見直しが必要となった

ことから、所要の改正を行うもので、可決しました。

◆平成25年度甲州市一般会計補正予算(第6号)は、854万7000円を追加し、歳入歳出をそれぞれ177億2106万3000円としました。歳出内容は、衛生費として地域医療救護体制整備事業に854万7000円を追加し、歳入内
容は、**県支出金に828万円、繰越金に26万7000円**を追加するもので、可決しました。

◆市教育委員会委員に、矢崎秀明氏(69・塩山上萩原)、保坂一仁氏(63・塩山赤尾)、古屋安廣氏(64・勝沼町山)、岡村久美子氏(59・塩山下於尊)を任命することに同意しました。

◆萩原山財産区管理委員に、廣瀬宗勝氏(74・塩山上塩後)を補充選任することに同意しました。

◆議会選出の市監査委員に、岡武男議員(71・塩山中萩原)を選任することに同意しました。

新しい議会構成が決まる

11月臨時会では議長選挙及び副議長選挙が行われ、議長選挙は無記名投票の結果、中村勝彦議員(40・塩山竹森)が、副議長選挙は指名推選により、佐藤大輔議員(36・勝沼町勝沼)が当選しました。(議長選挙の投票総数は18票)

◆議長選挙
当選 中村勝彦(12票)
古屋匡三(5票)
川口信子(1票)

【議長選挙】

◆副議長
中村勝彦

【副議長】佐藤大輔

【監査委員】岡武男

【委員会構成】(○)委員長、

○副委員長、年齢順)

◆総務常任委員会

○古屋 久 ○黒川武雄

廣瀬宗勝 野尻陽子

平塚 義 日向 正

◆教育民生常任委員会

○夏八木盛男 ○廣瀬明弘

岡武男 矢野義典

相澤俊行 佐藤大輔

◆建設経済常任委員会

○丸山国一 ○岡部紀久雄

川口信子 古屋匡三

高畑一幸 中村勝彦

◆議会運営委員会

○廣瀬宗勝 ○夏八木盛男

岡武男 古屋匡三

古屋 久 日向 正

丸山国一 高畑一幸

◆議会広報編集委員会

○平塚 義 ○岡武男

野尻陽子 川口信子

岡部紀久雄 丸山国一

相澤俊行 黒川武雄

廣瀬明弘

【二部事務組合等議会】

◆東山梨行政事務組合

廣瀬宗勝 岡武男

野尻陽子 夏八木盛男

丸山国一 相澤俊行

黒川武雄 高畑一幸

◆峡東地域広域水道企業団

平塚 義 岡部紀久雄

矢野義典

◆東山梨環境衛生組合

古屋匡三 古屋 久

夏八木盛男 佐藤大輔

◆釈迦堂遺跡博物館組合

平塚 義 日向 正

岡部紀久雄 相澤俊行

廣瀬明弘 中村勝彦

◆甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合

丸山国一 中村勝彦

◆山梨県後期高齢者医療広域連合

川口信子



市議会議員一般選挙後、初の臨時会が開催され、正副議長選挙や各常任委員会の選任などが行われた

平成25年12月定例会 議案等議決結果一覧表

(賛成=○ 反対=● 退席=△ 欠席=欠) ※中村勝彦議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	高	廣	黒	相	岡	日	佐	川	丸	矢	夏	古	古	平	野	岡	廣	結			
			畑	瀬	川	澤	部	藤	口	山	野	八	屋	屋	塚	尻	武	宗	果				
12月定例会	議案第98号	甲州市勝沼農業農村情報連絡施設設置及び管理条例等の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第99号	甲州市営住宅設置及び管理条例等の一部を改正する条例制定について																					
	議案第100号	甲州市介護保険条例及び甲州市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第101号	甲州市下水道使用料条例及び甲州市浄化槽の整備に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第102号	甲州市立保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について																					
	議案第103号	甲州市ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第104号	甲州市広告板使用条例の一部を改正する条例制定について																					
	議案第105号	甲州市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第106号	甲州市勝沼ぶどうの丘施設設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第107号	甲州市立病院及び診療所諸収入条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第108号	甲州市勝沼防災センター設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第109号	甲州市恩賜林記念館使用条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
予 算 案	議案第110号	平成25年度甲州市一般会計補正予算(第7号)																					
	議案第111号	平成25年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)																					
	議案第112号	平成25年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第113号	平成25年度甲州市下水道事業特別会計補正予算(第3号)																					
	議案第120号	平成25年度甲州市一般会計補正予算(第8号)																					
その他の案件	議案第114号	甲州市勝沼農業農村情報連絡施設の指定管理者の指定について																					
	議案第115号	甲州市勝沼健康福祉センターの指定管理者の指定について																					
	議案第116号	甲州市大和福祉センター・甲州市大和デイサービスセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第117号	甲州市甲斐の国和自然学校施設の指定管理者の指定について																					
	議案第119号	甲州市やまと天目山温泉資源活用施設の指定管理者の指定について																					
議案第121号	甲州市日川溪谷緑の村の指定管理者の指定について																						
人事案	議案第122号	人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請 願	請願第6号	山梨県に対して、「重度心身障害者医療費助成制度」の窓口無料の維持を求める意見書を提出することを求める請願	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○		
	請願第8号	新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書の提出を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議案	発議案第8号	新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11月臨時会	条例案	議案第93号	甲州市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	予算案	議案第94号	平成25年度甲州市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人事案	議案第95号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第96号	萩原山財産区管理委員の補充選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第97号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議案第118号は議案撤回、請願第7号は請願取り下げとなりました



社会科授業の一環として議会議場を訪れた塩山中学校2年生

議会トピックス

塩山中学校2年生が 市議会の仕組みを学ぶ

10月22日と24日に、塩山中学校2年生約150人が市議会議場で、市議会の仕組みや議会広報について学びました。これは議会広報編集委員会が、議会を身近に感じてもらうと企画したものです。
身近な課題を議論している市議会について、さまざまな感想をいただきましたので、一部紹介します。

市議会議員になるということは、覚悟と責任が必要なのだと強く思いました。市議会の方々は、甲州市を良くしようといろいろなことを話し合い決めてくれているので、自分たちも中学生としてやるべきことをしっかりとしようと思いました。

松橋達希

市議会議員は市民が選挙を通して決めた、いわば市民の代表だ。だから議員で一番大変なことは市民全員の意見を一つにまとめることだという答えには、とても責任というものを感じた。代表としての責任。それは私にはまだ分からないくらい重いものなのだと思う。

滝巖沙希

今回の体験で議員さんの「パツツの重み」がよくわかりました。なぜなら議員さんは地域の代表で、その地域の人たちの意見をまとめて言わなければならないからです。そして、この地域一帯の人たちが暮らしやすいような社会をつくるための話し合いをしなければいけません。僕は普段、議会広報を見ませんので甲州市の今の様子を知りませんでした。しかし、見てみると議員さんたちが僕たち市民の目線に立って話し合ってくれている様子がとても良く分かりました。

吾妻直哉

私は議場に行って、「市の予算」のことを学びました。議会広報を見ると、ちゃんと振り分けしたグラフがあり、こんなにたくさん決めるのは大変だなと思いました。私は特に歳出の方で、教育費の額に驚きました。この額の中から私たちが授業で使うものを買ってくれているのだと思い、感謝したいと思いました。

雨宮奈々香

僕が一番印象に残っているのは、議会広報の話です。市議会で話し合ったことを何回も何回も読み直して作っていると聞いて驚きました。だから僕は、今度議会広報が来たら、じっくりと読みたいです。次に心に残っているのは選挙のことです。少ない人の投票で決まるのはいけないことだと思うので、僕は必ず二十歳になって選挙権を持つようになったら投票に行きます。

吉岡 純

議長とはとても責任が重く、みんなから信用されていないとできないということに心を動かされた。6年後に僕も選挙権が持て、11年後には被選挙権がもてるので、もし僕がなったらどんな甲州市になるんだろうと考えたら、少しの不安と好奇心が湧いてきた。

広瀬錬哉

「広いなー！」市議会の議場に入ったときの第一印象です。自分は前から会議を行っている様子をCATVで見たことがあるけど、会場はどのようになっているかということを知っていませんでした。テレビで見たときと同様に、ものすごく緊迫した雰囲気でした。そこでは市議会の仕組みなどを教えてもらいました。また、実際の会議の様子も見させてもらいました。自分はこのような会議に興味があったのでとても興奮しました。

西野聖僊



※全員に感想文を書いていただきましたが、紙面の都合上15人の感想文を紹介します



真剣なまなざしで一般質問の様子を見る生徒

今回の見学を通して市議会に興味を持つことができた。市議会の構成、取り組みを今までは全く知らなかったが、議員さんの丁寧な説明で詳しく知ることができた。「バッジの重み」の話聞いたときは深く感心した。市の責任を背負う気持ちの強さを真似して、これからの学校生活に活かしていきたい。

小林圭斗

私は議員の仕事をよく知りませんでした。でも今回の見学でたくさんを知りました。特に「地域のことを学んでおく」ということが印象に残っています。そして地域のことを知っておくことで、より良い地域づくりにつながるという議員のポリシーがすごいと思いました。甲州市のために活動してくれる議員を決める選挙権を私は将来大切にしていきたいと思いました。

林 柚子

「知らなかった！」と思うことがたくさんあった市議会見学。今まで仕組みを知らず、「どうやっているんだろう？」と思っていました。今回の見学で詳しい話を聞き、興味の扉が開きました。私は今、中学生に求められていることがいくつもあると思います。それを見つけて地域に貢献できるよう協力していきたいです。

中村美友



市議会議員さんが市のことをしっかりと考えた上で一般質問をし、今の甲州市をもっと活性化させようとしているその思いが強く伝わってきました。議会広報では、僕たちに関係のある、教育のことが載っていて、どう対策をとるのが知りたくなりました。議場では、実際に質問やその答弁を再現していただき、市のために住みやすい環境づくりをしているのだと思いました。

村田健太郎

市議会は甲州市をより良くするために、条例や予算などを話し合う場です。私たちに身近なものだと、「確かな学力育成プロジェクト」です。このプロジェクトも議会でも話し合われたことです。市議会は甲州市の方針を決めていく大切な機関であることが分かりました。私たちが「甲州市はいいな！」と思う陰には市議会議員の努力があることを知りました。

田辺真育子

私は議会を見学して、市議会議員の責任や緊張感を感じました。中央公民館の8億円もの工事、市民の要望の優先順位など、約3万5,000人の期待を背負った仕事の重さを改めて感じました。議会広報は今まで読んだこともなかったけれど、実際に私たちに关わることや、甲州市のこれからがたくさん詰まっているので、とても身近に思うことができました。

廣瀬琳香

私は今回、政治が身近なものに感じる事ができた。なぜなら、自分たちが生活している周りにたくさんの条例があったからだ。特に、医療費の条例にはびっくりした。小学生の時に「払わないんだ。」としか思っていなかったのを知った時にはありがたみを感じた。次の世代の人にもしっかりこれが行われるように、税をしっかりと納めようと思った。私にとって感謝を伝えたい見学となった。

須永野乃

僕は市議会がどんなものかよく知らなかった。議員さんがどんなことをしているかも分からずにいた。議員さんは本会議や委員会を通して、市のことを熱心に考えてくれているのだと知った。また、「バッジの重み」という言葉を聞き、僕も副委員長をやっている、その重圧など、いろいろなことが重く感じていたけれど、議員さんのように僕も二学年のためにがんばりたい。

広瀬優斗

11人の議員が市政を問う！



1	廣瀬 宗勝 議員	甲輝会	9 ページ
2	古屋 匡三 議員	希望の風	10 ページ
3	野尻 陽子 議員	希望の風	11 ページ
4	岡部紀久雄 議員	政和クラブ	12 ページ
5	丸山 国一 議員	甲輝会	13 ページ
6	日向 正 議員	希望の風	14 ページ
7	黒川 武雄 議員	政和クラブ	15 ページ
8	矢野 義典 議員	公明党	16 ページ
9	高畑 一幸 議員	政和クラブ	17 ページ
10	川口 信子 議員	日本共産党	18 ページ
11	相澤 俊行 議員	希望の風	19 ページ

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

詳細な内容は、甲州市議会ホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。また、12月定例会会議録を市立図書館などでご覧ください。掲載・発行はいずれも3月上旬の予定です。

一 般 質 問

12月定例会では、産業・教育・福祉・防災・基盤整備など
市政全般にわたり、一般質問が行われました。
それぞれの内容を要約してお伝えします。



廣瀬宗勝議員

甲輝会

問 市長は、政治信念に基づき、市の発展に尽くすと述べているが、どのように推進し、実現していくのか決意を問う。

答 市長 「市民とともに活力と希望のあるまちづくりの推進」、「市民と太いパイプを大切にする市政の実現」、「自然や景観を守り市民が誇れるふるさとづくり」の3つの信念に基づき、2期8年間の成果と実績をもとに、①太陽光発電や小水力発電など、本市にふさわしいエネルギー政策等に取り組む持続可能な循環型まちづくり、②果実と地域資源を活用した農業、歴史、史跡の文化を連動させた観光のまちづくり、③世界に誇るぶどうなどの地域ブランド化とさらなる販路拡大、④子育て支援と学校教育の充実、⑤いつまでも健康で元気な生活を実現していくための熟年ライフの実現

を5つの基本政策に掲げて市政運営に取り組んでいく。

問 平成26年度当初予算編成における地方交付税の見込み額を問う。

答 財政課長 国が示す地方自治体財政運営の指針となる地方財政計画において、今後の景気動向や消費税増税などを反映する中で地方交付税の伸び率が決定される。それを参考に試算し、当初予算に計上したい。

問 本市の国民健康保険制度の健全な運営を図るため、健康づくりに関する条例制定に取り組んでいく考えはあるのか。

答 健康増進課長 市民、市民活動団体、事業者等の意見を伺い、健康づくり推進協議会等を中心に協議いただく中で研究していく。

問 待機者数の増加に伴い、特別養護老人ホームの今後の施設整備計画を問う。

答 介護支援課長 地域

Q 田辺市政3期目の決意は

A 5つの政策を掲げ市政運営に取り組む



5つの基本政策を掲げ、3期目の市政運営に対する所信を述べる田辺市長

密着型特養老人ホーム1事業所、定員29人を公募による選定を終えて、平成26年秋の開所に向け取り組んでいる。介護保険の財政運営は、3年を1事業期間とする事業計画で行われており、期間中の認定者数や介護保険給付費の見込み量をもとに、新年度から策定が始まる第6期介護保険事業計画の中で算定していく。

問 市の未収債権について、具体的な手続き等をどのように考えているのか。

答 収納課長 市債権全般の徴収については、市債権管理条例を今年度中に制定する。条例に盛り込むべき項目は債権者情報の共有、滞納処分、強制執行や訴訟手続きなどである。また、

収納課職員による手法研修などを通じ、徴収力のレベルアップと未集金の縮減を図っていききたい。

問 市道下塩後22号線改良工事について、県道白井甲州線から国道411号線（通称東バイパス）までの工区の事業計画等を問う。

答 建設課長 今年度に実施計画測量を発注し、事業費は約10億円を見込んでいます。補助金や交付金を活用し、早期完成を目指している。経済効果はもちろん、災害発生時の緊急輸送路にも活用できる広域的な道路としての役割が期待される。

下塩後22号線改良工事
今後の事業計画は

古屋匡三議員

希望の風



甲州市観光大使の協力を得る中で、地域特性を生かした観光振興やイメージアップを図っていききたい

Q ブランド化イメージアップや販路拡大の具体策は

A 6人の観光大使の協力を得て取り組む

問 本市のブランド化のイメージアップや売り込みの販路拡大について、具体的な計画を問う。

答 産業振興課長 今年度、6人の観光大使が誕生した。協力を得て本市の特産品や地域のイメージアップに努めていきたい。また、

農業関係者や関係団体等との連携を深め、消費者に認知される、本市のブランド化に向けた取り組みを実行していきたい。

問 庁内の公共施設活用検討委員会の中で検討を進めている、かつぬま情報館の活用計画を問う。

答 市長 大改築を実施していくことも視野に入れ、年度末までにはある程度の見通しを立てていきたい。

都会からの交流人口で農業支援策の推進を

問 農業従事者の高齢化が進行する中で、都会からの交流人口を活用し、農業支援策が推進できないか。

答 産業振興課長 新規就農者の確保が必要とされており、この状況に対処するため、認定農業者の育成や就農定着支援制度推進事業、農地流動化の促進など、

各種施策を実施する中で、平成26年度事業として、受け入れ農家の募集、ワーキングホリデーの事前研修会を行い、実施に取り組んでいきたい。

問 勝沼ぶどうの丘について、PFI方式導入の進捗よく状況を問う。

答 政策秘書課長 コンセプション方式の導入を目指し、専門的な知識を有する機関との契約に向けて、手続きを進めている。

問 市長の選挙公約である「誰もが住み慣れた地域で健康で安心して暮らすことのできるまちづくり」の促進に向けて、高齢者の見守りや買い物弱者に対する市独自の支援システムについて、考えを問う。

答 市長 市社会福祉協議会、民生委員・児童委員等と協働する中で、健康増進、日常生活の支援、社会参加の推進、ひとり暮らし

の不安の解消など、多様化する福祉ニーズに対応できるように、本市ならではの支援体制を構築していきたい。

問 勝沼地域からのバス連携について、塩山高校に通学する生徒や、通院する方のために、さらなる利便性が図れないか。

答 市民課長 現在、勝沼地域から塩山市民病院まで延伸している循環バスを、来年度から朝1便づつ、さらに延伸する考えである。

問 人口対策について、市外に居住している市職員には甲州市に住んでほしいと感じるが、考えを問う。

答 政策秘書課長 難しい課題ではあるが、人口減少時代の自治体のあり方を学ぶ研修会を実施するなど、対策を講じている。

問 防災行政無線について、戸別受信機に変えて、携帯電話を利用することができないか。

答 総務課長 今回のデジタル化整備事業では、電話で放送内容を再度確認することが可能となる。また、通信料は利用者負担となるが、携帯電話へのメール配信が登録可能になるよう、現在作業を進めている。

※1 民間の資金や経営能力等を活用し、公共施設等の設計、建設維持管理、運営を一体的に行なう手法
 ※2 施設の所有権を移転せず、民間事業者インフラの事業運営に関する権利を長期間にわたって付与する方式



野尻陽子議員

希望の風

A

教育環境充実のため設置していく

Q

小・中学校への
エアコン設置事業
慎重に検討を

問 地元新聞社のアンケートにおいて、特定秘密保護法に賛成の立場を示した市長の見解を問う。

答 市長 国の安全、安心を確保する上で、必要な法律であると思っている。ただ、あまりにも早く結論を出してしまい、もう少し議論を重ね、慎重審議の上で成立させるべきであった。

問 小・中学校普通教室へのエアコン設置事業について、具体的な設置台数、事業費、設置の順序、国の補助金等、また、年間の電気料について問う。

答 教育総務課長 市内全ての小・中学校の普通教室にエアコンを設置していく予定であるが、157室で、約2億5000万円の費用を要すると考えている。まず、中学校から順次設置する予定で、国の補助金は、2月以降に協議し、申請していく。電気料については、

設計の中で算出していく予定である。

問 校舎は断熱構造になっていくのか。

答 教育総務課長 本市においては、断熱構造では設計を組んでいない。

問 約2億5000万円を要して設置していくとのことだが、学校の統廃合との関係については、どのようなスタンスなのか。

答 教育長 少子化が進行している中で、学校の統廃合は重要な課題と認識しているが、基本的には、教育環境の充実という視点から考えていきたい。

問 整備が完了した上で、今後、統廃合に伴い、新たに校舎を建設するということになれば、今回の事業はあまり賢い支出にならないのではないか。

答 教育委員長 10年、20年後の対策ではなく、現在、夏場の暑い時期に子

どもたちをどのような環境で勉強させてあげるかを考えている。一時的にある程度の投資金額は生じるが、決して無駄ではない。今後状況が変わった時には投資したものをどうやって活用していくかを考えていった方が得策ではないかと思っている。

下水道事業の
将来負担は

問 下水道事業の起債残高は、現在、どのくらいあるのか。

答 都市整備課長 平成24年度末で100億9120万円である。

問 今後20年間で整備を完了するとすると、トータ

ルの建設費はどのくらいになるのか。

答 都市整備課長 大和地域は整備が完了しており、塩山、勝沼地域に係る建設費は、残り640万円で、約157億円を見込んでいます。

問 維持管理費はどのくらいになるのか。

答 都市整備課長 平成24年度は、汚水処理に係る費用が1億5080万円、資本費に係る費用が5億7070万円で、計7億2150万円となっている。現在、約1億2500万円の使用料収入があり、残りの約5億9650万円を一般会計から繰り入れている。今後は、料金改定等を行う中で、健全経営に向けた取り組みを進めていきたい。



今後約157億円の建設事業費が見込まれている下水道事業

岡部紀久雄議員

政和クラブ



市のマスコットキャラクター、ブードくとモモンちゃん

Q おもてなしのため

商店等のトイレの開放推進を

A 関係団体等と協議し検討していく

問 近い将来、本市には多くの観光客が訪れる要素がたくさんある。富士山の世界文化遺産登録、さらに東京オリンピック・パラリンピックの開催、リニア開設等に向け、受入れ体制をつくるのが「おもてなし」につながると感じている。

そこで、観光振興の観点から、商店及び一般家庭のトイレの開放推進を提案するが、市の見解を問う。

答 観光交流課長 公衆トイレの整備等は、おもてなしを実践する上で大変重要な要素である。現在、観光交流課では、塩山地域15カ所、勝沼地域4カ所、大和地域5カ所、計24カ所の公衆トイレと、3カ所の仮設トイレを管理しており、

公共施設等のトイレもご利用いただいている。商店等のトイレの開放推進については、市観光協会等の関係団体と協議する中で今後検討していく。

問 観光宣伝方法の一端として、都内の電車内広告の活用を検討すべきと考えるが、現状を踏まえた中で市の見解を問う。

答 観光交流課長 甲州市ブランドのさらなる確立と推進に向け、果物の収穫

シーズンの誘客促進や観光宣伝活動を実施している。関係団体等と連携した市長トップセールスに加え、キャンペーン活動にフルーツ娘やマスコットキャラクター、新宿東口のアルタビジョン等の各種情報媒体を例年にも増して積極的に活用している。電車内広告等の活用についても、今後研究、検討していく。

観光交流課の配置場所
庁舎1階へ移設を

問 観光交流課は窓口業務等が必要な場面が多々あり、本庁舎1階への移設が望ましいと考えるが、いかがか。

答 政策秘書課長 1階には市民や利用者の利便性を考慮し、窓口業務や来庁者数が多い課を配置し、2階には業務連携の必要性が高い部署の近接性を重視し

て配置した。観光交流課は、産業振興課との連携が重視されるため現在の場所に配置しており、見直しについては、来庁者の利便性や各課の業務連携等を考える中で、今後検討していく。

問 地域におけるインフラの劣化対応について、市が管理している公共物改修の現況を問う。また、軽微な作業により修復可能な箇所は、地域の方々の力を借り、協働で取り組むことが、活力あるまちづくりに発展すると考えるが、いかがか。

答 建設課長 道路、水路の工事要望箇所については、平成17年度から約350件が未着手な状況である。緊急性の高い箇所を中心に事業を実施しているが、年間工事発注件数よりも要望箇所が多く、年々増加する傾向にある。軽微な補修については、地域の方々の労力を提供していただく小規模基盤整備補助事業、原材料補助事業等の制度があり、平成24年度は9件、約170万円の事業実績がある。本事業を通して、公共物への愛着や地域の一体感も高まり、地域づくりにも大きな役割を果たしている。



丸山国一議員

甲輝会

Q ごみの減量化に向けた本市の対応は

A 重要であり推進していく

問 笛吹市境川町に建設中のごみ処理施設が平成29年度に稼働予定であり、今後3年間で、リサイクルも含めたごみの減量化を実施していく必要があると思うが、市の対応を問う。

答 環境政策課長 4市担当者会議を開催し、共通課題について検討を行った。本市で負担金が発生する以上、ごみの減量化は重要であり、推進していきたい。

問 本市の景観をしっかりと保つていくために、太陽光発電設備の設置に関する指導要綱等を早めに策定する必要はあるのではないか。

答 市長 本市は観光振興上、また、重要文化財も多く、景観を大事にしなければならぬ地域である。エネルギー問題の観点では必要な設備であるが、注意しながら規制していきたいと考えており、担当課で検討をしている。

問 さらに戦略的な観光誘客について、市はどのような考えなのか。

答 観光交流課長 県関係機関及び関係各課において、情報収集、情報共有し、連携強化を図る中で誘客促進に努めていきたい。

問 観光戦略として、戦略的な道路計画が必要と考えるが、市の見解を問う。

答 都市整備課長 多様化する社会状況や将来交通の流れをしっかりと見据えた中で、県や隣接する笛吹市、山梨市と連携し、富士北麓とのアクセスが図れるよう取り組んでいきたい。

問 甲州ぶどうの販路拡大について、市はどのような考えなのか。

答 産業振興課長 単体では市場で受け入れられることは難しいが、「甲州市の甲州ぶどう」だということ訴えていきたい。

問 中学校普通教室への

エアコン設置について、早めの設置を要望するが、いかがか。

答 教育総務課長 夏休み期間中に工事を実施する予定である。入札事務の手続きや設備台数の多さ等、時間はかかるが、早めの設置に努力したい。

保・幼・小・中 一貫した教育の推進を

問 本市の目指す教育という点で、保育所、幼稚園、小・中学校の一貫した教育というのも大切だと考えるが、市の見解を問う。

答 教育長 国が示す幼稚園教育要領、保育所保育指針、小・中学校学習指導要領の配慮事項などを十分

踏まえて、「保・幼・小・中の連携」、「家庭教育への支援」、「地域教育での取り組み」の3点を中心に、具体策を講じていきたい。

問 文部科学省は来年度の全国学力・学習状況調査について、学校別の成績公表を自治体の教育委員会の判断で認めるとしたが、成績公表はすべきなのか。

答 教育長 学校別成績公表については、現時点では考えていない。

問 塩寿荘は老朽化が進んでいるが、改装や移転を考へはあられるのか。

答 副市長 高齢者の方が生きがいを持って集まる大切な場所であり、多くの皆さまの意見を伺う中で検討していきたい。



太陽光発電設備の設置には景観保全に対する配慮も求められる

日向 正議員

希望の風



全国の自治体で広まっている「乾杯条例」。本市でも制定の必要性について検討が進められる

Q 「ワインで乾杯条例」制定の考えは

A 前向きに取り組んでいく

問 行政機関の情報開示が十分でないと感じるが、現状をどのように認識しているのか。

答 総務課長 公正で透明な市政の推進を図っているが、十分であるとは感じておらず、情報公開、情報発信の充実に取り組んでい

きたい。

問 ワイン産業の振興を推進している観点から、「ワインで乾杯条例」の制定はさまざまな分野で地元経済の活性化につながると考えるが、いかがか。

答 産業振興課長 ワイン文化を花開かせるため、実効性のある取り組みとして、幅広い観点から検討していきたい。

問 ワインのトップセールスを展開している市長はどのような考えなのか。

答 市長 甲州ワインを取り巻く文化の醸成が必要であり、ワイン関係者等と協議する中で前向きに取り組んでいきたい。

保健環境委員
組織の再編は

問 保健環境行政の円滑な推進を図るため、本市では区単位で保健環境委員を

任命している。年々、情報や業務が増加していることから、保健委員、環境委員と別の組織を作り、それぞれの委員と情報共有する機会を増やし、市民と協働を推進していく考えはないか。

答 健康増進課長 保健と環境は生活に密着した大きな問題であり、地域で取り組むべき重要な課題となっているため、組織再編は行政としても望ましいところである。今後、区長会や保健環境委員会等と協議

する中で検討していきたい。

問 再生可能エネルギー利活用促進のため、太陽熱給湯器、まきストーブ、ペレットストーブ、エコキュート等の設置に補助金を支給する考えはないか。

答 環境政策課長 市民からの要望や一般家庭での普及率が低いなどの課題があるため、公費の支援が必要なのか、研究課題である。

問 リサイクルステーションとごみステーション、それぞれの費用分担と収益処理について問う。

答 環境政策課長 回収物の市場価格に基づき、リサイクルステーションを管理する行政区には回収業者から還元金が支払われる。ごみステーションについては、処理費の請求時に相殺し、市の回収費用に充てている。

問 自治会や商店街で維持管理されている防犯灯、街路灯のLED化に対する補助制度はどのように計画されているのか。

答 総務課長 補助金額は1灯につき、設置費用の2分の1とし、上限額は2万円となっている。

問 保育所園庭芝生化促進事業の補助対象を、小山や自然環境を取り入れた庭園づくりなどの費用に拡大する考えはないか。

答 子育て支援課長 各保育所の園庭は限られた敷地である。子どもたちの遊びの重要なスペースで、園によっては運動会の会場ともなっており、園児の安全確保や見守りやすい環境が必要だと考えている。



黒川武雄議員

政和クラブ

上条集落「重伝建」選定に向けた推進状況は

A 平成26年12月の選定を目指していく

問 塩山下小田原の上条集落について、重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた事業の推進状況と、今後のスケジュールを問う。

答 生涯学習課長 上条 集落の民家の中には県内に現存する最古の建物もあり、文化財としての価値が非常に高い。平成21年から現在まで、勉強会、説明会などを開催しており、地元の同意を得た後、保存条例を26年3月議会へ提出できるよう準備を進めている。その後、都市計画法に基づき保存地区を決定し、教育委員会が保存計画を策定する。最終的には26年12月の選定を目指していく。

問 重伝建地区に選定された場合のメリット、デメリットを踏まえた留意点は何か。

答 生涯学習課長 保存修理、防災事業、標識説明板等の設置など、国の補助

が受けられる。具体的には、防火水槽、消火栓、シロアリ駆除、石垣の積み直し、また、所有者への支援として税の優遇措置が受けられる。留意点は取り壊しができず、改修も現状維持が前提であり、新築する場合は景観に配慮が必要となる。

観光のまちづくり 具体的な手法は

問 市長所信表明で述べた「農業、歴史、史跡の文化を連携させた観光のまちづくり」について、具体的な手法を問う。

答 観光交流課長 市観光振興計画に基づき、四季折々の魅力にあふれた豊かな自然や歴史文化と基幹産業である果物、ワインなど本市独自の強みを生かし、フルーツとワイン産業観光、武田家の聖地ブランド化、「あるくくこうしゅうの

推進」など、重点プロジェクトを掲げ、市長トップセールスをはじめとする、宣伝PRを市観光協会等の関係団体と協働、連携し、取り組んでいく。

問 本市のフットパスの現状を問う。

答 観光交流課長 塩山エリアで4、勝沼エリアで3、大和エリアで1コースを設定しているほか、各種団体が設定しているコースもあり、歴史的景観、町並みなどを心と体で感じながら歩いていただいている。

問 フットパスに利用するコースガイドマップはどのようなになっているのか。

答 観光交流課長 市のメインパンフレットと観光協会が発行するエリアガイ

ドマップに表示している。また、あるくくこうしゅう推進協議会においても、市ウォーキングガイドマップを発行している。

問 市長所信表明で述べた、ぶどう生産地域が集う「ぶどうサミット」について、取り組みを問う。

答 産業振興課長 現在、検討段階であるが、生産から流通までの課題を持ち寄り検討する「ぶどうサミット」の開催を提唱していきたい。具体的な方策については、JAフルーツ山梨等と検討を進めていく。

答 市長 全国の関係者が集い、課題を話し合い、解決に向けて、国・県と共に行動していくため、開催に向けて取り組んでいく。



特異な切妻づくりの甲州民家群として高い評価を受けている上条集落

※文化財保護法に規定する文化財種別のひとつ。市町村が条例等により決定した伝統的建造物群保存地区のうち、特に価値が高いものとして国が選定したもの

矢野義典議員

公明党



温暖化防止対策として注目されている電気自動車の普及のため、市役所駐車場に急速充電器が設置される予定である（写真は市役所3階駐車場の普通充電器）

Q 中学3年生までの医療費の窓口無料化 実施の時期は

A 平成26年4月から実施したい

問 平成25年9月議会において、一步踏み込んで通院を含めた医療費無料化を中学3年生まで拡充することを提言した。市長は所信表明で実施していくと述べたが、実施の時期はいつ頃になるのか。

答 市長 財政状況が厳しい中ではあるが、多くの皆さまからご要望をいただいております。平成26年4月から実施したい。

問 小・中学校の普通教室へのエアコン設置について、電力消費量や二酸化炭素排出量を可能な限り抑制する観点から、省エネ型のシステムを採用することを提言するが、いかがか。

答 教育総務課長 省エネ機器の導入など、環境や省エネ対策を含めて、設計の中で考えていきたい。

問 レセプト・健康診断情報等を活用し、意識づけ、受診勧奨などの保健事業を効果的に実施し、さらには医療費適正化に効果が期待できる「データヘルス計画」の推進を提言するが、いかがか。

答 国保年金課長 今後の国の保健事業についての指針の改正や健保組合に対するデータヘルス計画策定等の動向を把握しながら、計画の策定に向け、取り組みを進めていきたい。

問 近年、企業・団体、個人が、図書館が所蔵する雑誌の購入代金の全部または一部を負担し、その見返りとしてスポンサー名の掲示や広告の掲載を行う「雑誌スポンサー制度」があり、導入する自治体が全国に広まりつつある。本市においても本制度の導入を提言するが、いかがか。

答 生涯学習課長 先進事例を研究する中で、積極的に検討していきたい。

問 少子高齢化が進行する中で、未婚率の上昇が少子化の背景にあると指摘されているが、「婚活」支援を少子化対策の効果的な取り組みの一つとして位置づけ、地域の実情に応じた支援策を検討・推進することを提案するが、考えを問う。

答 市民課長 結婚相談員を中心に、関係各課と連携を図る中で、これまでの個別の結婚相談を充実させながら、婚活イベントにおいても情報メディア等を活用する新たな方法も検討していきたい。

問 市長は所信表明で、温暖化防止対策の一つとして注目されている電気自動車の普及のために必要なインフラ整備として、急速充電器を設置すると述べたが、

市役所駐車場に急速充電器

設置する予定である

（写真は市役所3階駐車場の普通充電器）

※健康保険組合等が保有するレセプトや、事業主から提供された健康診断データなどの情報を活用し、加入者の健康づくりや疾病予防、重症化予防を行う事業



高畑一幸議員

政和クラブ

Q 甘草屋敷の夜間ライトアップを

A 課題があるが今後検討していく

問 甘草屋敷では、昨年度から甘草を活用したまちおこし並びに観光力を高める事業を始めた。春のひな祭りイベント、10年近く続く、秋から冬にかけての甘草屋敷と枯露柿の風景もイベントとして事業展開しており、ほかではまねできない観光客を呼ぶオンラインの事業であると思っている。そこで、来年度から、夜間ライトアップを実施し、より一層の観光客の集客を目指していくことができるか。

答 生涯学習課長 重要文化財旧高野家住宅甘草屋敷は平成13年に全面オープンした。甘草屋敷と枯露柿の風景は、初冬の本市を代表する文化的景観である。夜間ライトアップについては、開館時間やセキュリティ等、クリアしなければならぬ課題があるため、今後検討していく。甘草屋敷は

これまで本市の魅力発信する場として活用してきたが、観光協会、観光ボランティアガイドの会等、関係団体及び関係各課と一層の連携を図り、機能強化に努めていきたい。

問 樋口一葉資料室はなぜ開館されていないのか。また、再開館の予定はあるのか。

答 生涯学習課長 甘草屋敷を活用した新たなまちづくりがスタートし、平成25年5月に甘草屋敷内に約600本の甘草の苗を植えた。明治5年に栽培をやめてから、140年ぶりに栽培地としての甘草屋敷が復活したことになる。教育委員会では、甘草に関する資料展示スペースを確保するため、樋口一葉資料室を閉めることとした。これまでの甘草屋敷内での資料室では観覧料が必要となるため、樋口一葉を紹介する対象を

市民とするのか、観光客とするのか検討する中で公開場所を定めていきたい。

問 市が推進している人口対策に関するプロジェクトで、出生率の増加について、どのような考えや対策があるのか問う。

答 政策秘書課長 出生率の増加につながる事業は、人口対策本部が掲げた人口対策の5本の柱の一つである「子どもを産み育てやすい環境の整備・向上」が該当する。総合的な子育て支援の充実、出産、母子支援、結婚支援、婚活イベントの開催として、対策本部で施策を区分し、担当課の意見を聞く中で具体的に事業化の適否について検討を進めている。

消防用品の盗難被害
本市の取り組みと対策は

問 県内各地で発生している消火栓ホース格納箱からの消防用品の盗難事件に、本市での取り組みと今後の対策を問う。

答 総務課長 市内約700カ所全ての格納箱の点検を11月24日までに実施したが、盗難被害はなかった。しかし、事件が解決していないため、12月5日、日下部警察署長にパトロールの強化を要請した。現在、格納箱の扉を封印できる警告ステッカーを製作中で、完成次第、市消防団の協力を得る中で再度点検と作業を実施し、盗難防止と抑止に取り組んでいく。



県内各地で消防用品の盗難被害が発生したことから、消火栓ホース格納箱の扉に警告ステッカーを貼り、被害防止対策を講じている

川口信子議員

日本共産党



医療費の伸びなどにより国保財政は厳しい状況にあるが、安定的な運営を確保したい

Q 国保税引き下げの考えは

A 被保険者になるべく負担をかけないよう努力

問 日本共産党甲州市委員
員会が実施した市民アンケートでは、「特に負担が重いものは」の問いに対し、1位は国保税であったが、市は国保税を引き下げる考えはあるのか。

答 国保年金課長 合併以降、毎年医療費が伸びて

いる状況の中で、国保税の収納率の向上、国・県の補助金や調整交付金のより多くの獲得に努めてきたことにより、国保税の引き上げは行っていない。社会保障制度改革のプログラム法では、低所得者に係る軽減判定所得基準の見直し等を行うこととしている。本市においても大変厳しい国保事業の運営ではあるが、被保険者になるべく負担をかけないよう努力していく。

就学援助制度の周知方法と内容は

問 就学援助制度の周知方法と教育費に関わる対象範囲について問う。

答 教育総務課長 1月下旬に行われる入学説明会及び3月に学校を通して保護者へ周知している。援助の内容は学用品、学校給食費などの7項目である。

問 改正生活保護法と生活困窮者自立支援法が衆議院本会議で成立し、手続きの厳格化が求められることとなったが、市はどのような受け止めているのか。

答 福祉課長 申請手続きについては、今回の改正

が必要書類を添付し、書面を提出することを設けているが、事情がある方については従来通り口頭申請を認めるなど、運用を変えるものではない。市としては、現行制度と併せ、新たな制度を適正かつ厳格に運用していくとともに、必要な方に適切な保護が行われるよう、これまで以上に相談しやすい窓口環境の整備に努めていく。

問 全国学力・学習状況調査について、文部科学省は来年度から自治体による学校別結果の公表を認めたが、市はどのように受け止めているのか。

答 教育長 学校別成績公表は現時点では考えていない。本市は小規模校が多いため、公表することにより個人や教員が特定される懸念がある。また、保護者が点数だけにこだわり、文部科学省が求めている「生きる力、豊かな教育」よりも点数の取れる教育を望むようになる。さらに、社会的な影響として、学力テストの結果で学校を選択し、越境入学等の動きにつながり、統廃合への影響も考えられるからである。

相澤俊行議員

希望の風



Q 小学校の英語教育 教科化への対応は

A 英語科に位置づけられた段階で充実を期す

問 市政の根幹を支える税収増と経費削減について、具体策を問う。

答 政策秘書課長 人口対策の推進により人口増を図る中で、市民税の確保や、事業所、観光施設等の誘致による固定資産税の増が考えられる。経費削減については、限られた財源で効果的に行政サービスを提供できるよう、質的向上に取り組んでいる。

問 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、本市は観光の国際化に対し、どのように取り組んでいくのか。

答 観光交流課長 県の情報交換会に出席し、関係機関、市関係各課と連携を持つ中で、具体的な観光振興策や関連するさまざまな取り組み等について、今後検討していきたい。

問 農業従事者の高齢化に伴い、今後増えることが

予想される「もぎ切れのない甲州百目柿」の有効利用の仕組みづくりは、枯露柿の生産量と質の確保、ブランド化の観点からも重要になってくると思うが、市の考えを問う。

答 産業振興課長 あらゆる機会を通じ、JAフルーツ山梨や関係機関等と連携し、最高級のブランド枯露柿の生産と新たな市場の開発、後継者の確保、また、観光的な利用も含めた中で推進していきたい。

正確で迅速な開票事務に努める

問 平成25年11月10日執行の甲州市長選挙・甲州市議会議員一般選挙の開票作業の遅れについて、どのように総括されたのか。

答 総務課長 今回は同時選挙として、初めて一つの開票区で作業が行われた

ため、相応の時間を要した。また、前回の開票速報において、序盤での得票数の速報の仕方が不均一であったことへの反省から、できる限り偏りのないよう開示したことも挙げられる。今後は見直しを図り、正確で迅速な開票事務に努めていく。

問 選挙公報は新聞折り込みではなく、全有権者に告示後速やかに配布するべきではないか。

答 総務課長 タウンメール方式の郵便など、選挙の種別や経費面等を踏まえ、前向きに検討していく。

問 市内小学校における英語教育の現状と課題、教科化への対応を問う。

答 教育長 現時点では、現行の学習指導要領のもと

で最善を尽くすとともに、英語科として明確に位置づけられた段階で、さらなる充実を期していきたい。

問 甲州市教育の大きな柱の一つである「地域に根ざした教育」の推進について、取り組みを問う。

答 教育長 各学校において、地域の実情や特色を十分踏まえて、教育の具現化を図っていく。

問 全国学力・学習状況調査について、学校、家庭、地域社会が密接な連携を図るためには、学校別成績の公表をすべきではないか。

答 教育長 小規模校では1人の点数の影響が非常に大きい。市全体の成績は公表したいと思うが、学校別の公表は考えていない。



国内でも最高級のブランドと評される甲州百目の枯露柿

総務

臨時職員数が増加傾向 職員全体の3割強を占める

総務常任委員会を12月19日に開催しました。主な審議内容を要約してお伝えします。

■甲州市恩賜林記念館使用条例の一部を改正する条例制定について

問 平成24年度の収入が約135万円とのことだが、支出はどのくらいか。

答 萩原山財産区事務長 平成24年度の維持管理費、人件費の合計は、約720万円である。

■平成25年度甲州市一般会計補正予算（第7号）

問 正職員365人に対し、臨時職員が193人というのは非常に多いと感じるが、内訳等を問う。

答 総務課長 22条職員は148人で、総務課が賃金を負担し、各課に配置している。課雇用職員は45人で、課が主体となり、雇用の必要性を判断している。

問 保育所では22条職員を何人雇用しているのか。

答 総務課長 調理員が9人、保育士が29人である。また、割合の多い他の部署については、学校関係で、

調理員が23人、用務員が7人である。

■甲州市勝沼農業農村情報連絡施設の指定管理者の指定について

問 指定管理期間について、他の施設は5年間だが、勝沼CATVのみ2年間とした理由を問う。

答 政策秘書課長 平成24年度に、指定管理者であった勝沼CATV組合が株式会社となり、新たに指定を変更した。条例では期間を5年以内と規定しているが、新たに指定管理者として指

定する場合は3年程度の期間としており、変更後の1年と来年度からの2年間を合わせて3年間という考えである。

■新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書の提出を求める請願

意見 新聞業界の問題は構造不況であり、特別扱いすることはその負担が他の誰かに行くことになる。よって、継続審査を求める。

※本請願は採決の結果、賛成多数で「採択すべきもの」と決しました。



平成26年4月からの消費税増税に関連し、恩賜林記念館など各施設等の利用料等が改定される

教育民生

園児数の減少により 東雲保育所と菱山保育所を統合

教育民生常任委員会を12月18日に開催しました。主な審議内容を要約してお伝えします。

■甲州市介護保険条例及び甲州市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 介護保険料の収入済額、収入未済額、未納者数を問う。

答 介護支援課長 平成

24年度決算において、調定額5017万4500円に対し、収入済額は4268万9500円である。収入未済額は748万5000円で、未納者数は196人である。

■甲州市立保育所設置及び管理条例の一部を改正す

る条例制定について 問 来年度から菱山保育所が統合されるが、残る7人の園児は全て東雲保育所へ移るのか。

答 子育て支援課長 来年度4月以降は、7人のうち、3世帯の4人が東雲保育所へ、2世帯の3人は民



園児数の減少により、平成26年4月から菱山保育所は東雲保育所に統合される

指定管理者制度 業績、選定方法に議論が集中

建設経済常任委員会を12月18日に開催しました。主な審議内容を要約してお伝えします。

■甲州市勝沼ぶどうの丘施設設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について

問 天空の湯の消費税改定後の料金は、市内外の他施設とで差が生じないか。

答 ぶどうの丘事務局長 市内在住者3000円、市外在住者6100円とし、市内外の他施設と差が生じないように設定する。

■甲州市甲斐の国和自然学校施設の指定管理者の指定について

問 株式会社フイツツが継続して指定管理者となるが、業績はどうなのか。

答 観光交流課長 同社を指定以前の平成22年度では、収支がマイナス1264万円であったが、指定後の平成24年度にはプラス328万8000円で、成果が表れている。

■甲州市やまと天目山温泉資源活用施設の指定管理者の指定について

問 保育所へ入所予定となっている。

■甲州市ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について

問 市内にひとり親家庭はどのくらいあるのか。

答 子育て支援課長 約310世帯である。そのうち、医療費の助成については、昨年度実績で236世

帯が対象になっている。

■甲州市勝沼健康福祉センターの指定管理者の指定について

問 新たに指定する業者は現状と同じだが、何か変更点はあるのか。

答 福祉課長 指定管理期間を従来は3年間としていたが、今回は5年間とした。それに伴い、債務負担の金額も計上している。

■甲州市大和福祉センター・甲州市大和デイサービスセンターの指定管理者の指定について

問 株式会社やさしい手甲府と5年間の指定管理契約であるが、協定内容等に変更はあるのか。

答 福祉課長 協定内容に変更点はない。実績を踏まえた中で協定を結ぶものである。

問 指定管理者制度の成果を問う。

答 観光交流課長 平成22年度のマイナス約1016万円が、平成24年度にはプラス約180万円に転じ、年間約4万人が利用している状況である。

問 指定管理者の選考について、応募社数と選考結果を問う。

答 政策秘書課長 株式会社栄和交通と県外業者1社からの応募があり、指定管理者候補選定委員会の総合的判断により選定した。

問 JAフルーツ山梨への凍霜害支援について、内容を問う。

■平成25年度甲州市一般会計補正予算(第7号)

問 JAフルーツ山梨への凍霜害支援について、内容を問う。

答 産業振興課長 桃の出荷量が減少し、農家が負担する共選所の利用料に約900万円の赤字が生じた。負担軽減策として、JAに100万円の助成を行い、各共選所の利用料に充てられる予定である。



昨年4月の異常低温により発生した凍霜害。農家が負担する共選所の利用料に赤字が生じたため、負担軽減策としてJAに100万円の助成を行う

「甲州のけい」

No.30 「冬のオリンピック」

作・三森 清



新年を迎え、1月5日に勝沼中学校校庭において、甲州市消防団出初式が行われました。消防活動への決意を新たに、ラッパ隊の吹奏に合わせて、勇壮な分列行進が披露されました。

表紙の写真

市議会を傍聴してみませんか

今回の3月定例会は、以下のとおり開催を予定しています。市議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひ議会議場へお出かけください。

●3月定例会の開催予定

2月 20日 (木)	午後 1時30分～	本会議 (開会)
28日 (金)	午前10時～	本会議 (一般質問)
3月 3日 (月)	午前10時～	本会議 (一般質問)
5日 (水)	午前10時～	常任委員会
6日 (木)	午前10時～	常任委員会
7日 (金)	午前10時～	常任委員会
10日 (月)	午前10時～	予算特別委員会
11日 (火)	午前10時～	予算特別委員会
13日 (木)	午前10時～	予算特別委員会
14日 (金)	午前10時～	予算特別委員会
19日 (水)	午後 1時30分～	本会議 (閉会)

※会期の日程は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定しますので、決まり次第、市ホームページなどでご案内します。なお、ご不明な点については、議会事務局までお問合せください。

■お問合せ

甲州市議会事務局 TEL 32-2111 内線 331

甲州市ホームページで

市議会本会議の会議録が検索できます。

甲州市議会では、市民の皆さんに議会本会議で行われた質疑内容などを広くお知らせするため、市ホームページにおいて、会議録の検索及び閲覧システムを導入しています。

これまでのCATVによる録画放送や、各市立図書館に常設している会議録冊子と同様に、議会内容を知るための情報媒体としてご活用ください。

検索・閲覧方法は、甲州市ホームページのトップ画面上の「甲州市議会」をクリックし、続いて「会議録の検索と閲覧」をクリックしていただくと、検索・閲覧画面になります。

こうしゅう市議会広報『有料広告』を募集!!

(年4回発行 11,650部)

■甲州市議会では、市議会広報の紙面に掲載する有料広告を募集します。発行は、年4回開会される定例会(3月、6月、9月、12月)閉会日の翌月末日の4回です。

■広告掲載料は1枠1回につき10,000円です。

こ
ち
ら
編
集
室

■明けましておめでとうございませう。皆さまには輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

■昨年11月10日の市議会議員選挙により、18人の議員が選ばれました。市民の皆さまの声を市政に反映すべく、責任と自覚を持ち、新たな気持ちで議会に臨んでいきたいと考えています。

■議会広報編集委員会のメンバーが代わり、新体制による初の発行となりました。今号からは、議事公開の徹底を实践すべく、全議案について、議員ごとの賛否を一覧表として掲載して

いくことになりました。今後も市民の皆さまに議会の議論、市民生活に直結する議案の審議内容を、正確にわかりやすくお伝えできるよう、編集に努めてまいります。まだまだ厳しい寒さが続いておりますが、くれぐれもご自愛ください。(平)

■議会広報編集委員会

市議会議長 中村 勝彦
編集委員長 岡村 武義
副委員長 岡村 陽子
委員 丸山 久雄
委員 相澤 紀子
委員 黒川 国一
委員 廣瀬 明弘